

# 月刊 JMITU ティニコカ



3月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2025 年発行

No.483

## 25年春闘回答

3月5日私達労働組合JMITUの春闘指定回答日でしたが要求を提出したセガ及びSLSからは、有額回答はありませんでした。まだ決算がしまつてない状態で判断ができないという両社の回答でした。

### セガ回答

その後3月28日2回目のセガ回答「賃上げについて議論したが結果的にベースアップは見送る。昨今のニュースでも5%などと言われていますが、セガは2年前に報酬改定にて大幅に上げている。他社より2年分早めに払っている。という考えから昇給は制度の昇給のみ。一時金については3カ月で考えている。去年賞与は夏2・25カ月冬2・0カ月、会社の

業績を考慮してBP達成でき

そうで、前期の利益より増益しているのが夏の賞与に反映させる。過去の改定で賞与1カ月分は月額給料にのせているので、実質4か月分といってもよい。その他諸要求については基本的に考え方に相違がある。今会社から要求に応じられることはない。

賃上げ一般平均は6095円試算値では、賃上げ率1・75%毎年上がる制度ではないので是認が上がるわけではないが理論値での回答です。

### SLS回答

SLSは26日に2回目の回答「前回要求に対する回答ができていなかったので回答いたします。

2月も締めり今期は事業計画を上回るとはわかってるので会社としては、

賃上げ（一般平均）

本人給 728円

評価給 2434円

合計 3162円

ベースアップ一律 4000円

調整給に加担する。

合計 7162円

賃上げ率（2・01%）

平均年齢 45歳3か月

夏季一時金について

報酬制度改定で説明しましたが、0・5は月額基準内に入れている。

係数 2・2

（昨年基準の2・7相当）

その他、設立30周年という事で係数0・8をプラスし合計係数3・0を支給する。

一般層平均 108万円

その他付帯要求には応じられない。組合要求にはない要望に

ついて、マイカー通勤の申請時に使用する運転記録証明代金は、今年より会社負担とする。退職金の金額（ライフプラン手当後払い）を確認できるように勤怠メニューに追加した。」

組合としては、ベースアップをするのであれば、評価給テーブルの底上げができないのか、30周年で一時金にプラスするのは良いが、正社員のみだけでなく、そこで働く、高齢者再雇用者の方やアルバイト、パートへも支給するべきではないか、検討してくれというところ

で今回は終わりました。

SLSで人事制度上での賃上げが上がらない、評価給テーブルの上限に達した人が多く、年齢も上がっている、本人給の上がる額も少ない、昇格者が増えない限り、今後昇給額は減ってきてしまいます。制度の行き詰まりを感じます。

仙洞田一彦

外壁のモルタルも、かつては輝くばかりのクリーム色だったが、今はうつすらとほこりが積もったような感じで、灰色がかって見える。同じころ建てた両隣も、奥にある家の壁も同様だ。同様と言えば住んでいる人間も、私と同じ七十代。うちは爺の一人暮らしだが、隣近所も似たようなもので老夫婦や一人暮らし。付近は住宅街だが、七〇年代にさかのぼれば、工場と住宅が混在し、やがて工場が姿を消して行き、建て替えられたりして住宅ばかりとなった。住んでいる人が若いと、住宅もなんとなく若く見えるもの

だ。

うちだってそうだ。玄関わきに並べて置いてある植木鉢も土ばかり。以前は今頃の季節になれば花をつけていたが、いつても何の花だったのか思い出せない。花の咲いている植木鉢なら、住む人の若さを感じられるが、土ばかりの植木鉢では花も咲かない人、すでに枯れてしまった人が想像される。

三時ごろには介護士さんが来る予定だ。正確には何と呼ぶのか知らないが、私は介護士さんと呼んでいる。前の介護士さんが辞めて、今日から新しい介護士さんが来るという。

以前は寝室が二階にあったけど、階段の上り下りが不自由になったので、一階の部屋

に移した。私は部屋の壁伝いに歩くか、杖を突いて歩く。

あるいは歩行器を使う。

まさかこんな生活を送ることになるとは、想像もしていなかった。妻は亡くなり、子供がいるにはいるが、それぞれに家庭を持ち独立している。住んでいるところが外国であったり、北の端であったり、往来も努力しなければ疎遠になりがち。

退職しておよそ十年になるが、在職中は、それなりの規模の会社に勤め、部長の肩書もあり、その部屋で一番大きな机を前にしていた。それなりの仕事をし、それによってその地位を得た。自分の努力によって得られたものだと、断言できる。机の前に座ると、どうしても部下一人一人を、

自分の努力と比較しながら眺めてしまう。

玄関が開く音がした。その前に呼び鈴が鳴るはずだが、それは聞こえなかった。ガサゴソと少し物音がして、  
「こんにちは」

と言いつ放しのふすまのかげから顔が出た。女性の年齢はわからないが五十歳くらいだろうか、丸顔で、目は大きくぱっちりして、髪は短い、元氣そうな女性だ。介護してもらうのだから元気な人でないと困る。

続けて自己紹介らしくいろいろと言ったが、早口なうえに、意外に小さい声で何を言ったか分からない。前任者に代わって、初めて来たらしいことだけは分かった。ここのところ聴力がかなり落ちてき



ている。何度も聞き返すのも煩わしいので、ほとんど聞き流している。

「それではお仕事をさせていただきます」

と言って、介護士さんは姿を消そうとした。

「その前に買い物をしてきてもらいたい」

慌てて私は言った。介護の仕事は食事作りと洗濯だが、今日は孫の誕生日の品を買い、送る手配をしてきてもらおうと思ったのだ。

「思い立ったら一日でも早くと考えてね。食事や洗濯は今日でなくてもいいんだが」

私の言葉に介護士さんは、ちよつと考えるふうにやや顔を俯けた。それから顔を元に戻して言った。

「買い物にご一緒するならい

いかもしれませんが、私一人で買い物に行くのは、いけないんじゃないかしら」

そう言い、「事務所に電話して聞いて見ましょうか」と続けた。

「いや、だって、私は介護保険料を払っているんだよ」

「みんな払ってます」

すぐに強気な返事が来た。

さらに続いた言葉は、やや推測を含んだような、どちらかといえば確信がなさそうな言い方だった。

「ええとですね、自立支援……

……自立されるのを助ける……だからお手伝いさん風に、ご本人に代わってするのではなく、ご本人が自立できるようにですね……援助、あくまで支援、援助ですね。ご本人の運動能力回復のために、買い

物にご一緒するならいいのです。自立が目的ですから」

もたもたしていると介護時間がなくなってしまう。のんびりとはしゃべっていられない。それにしてもこの介護士さんは、以前どこかで会ったことがあるような気がする。そう思いながら、答えた。

「自立支援と言ったって、こんな雨の日に、カッパを着て、一緒に買い物に行けというのかね。ただ歩くことでさえ、大変な私なんだ」

「家に閉じこもってしまうとですね、だんだん体力が衰えてですね、そのうち寝たきりになってしまいます。そうならないために、私は応援しようというのです。自立のための努力です。私はその努力を応援します」

私も焦ってきた。議論しているうちに介護時間が終わってしまいそうだ。買い物どころか、食事、洗濯もフイになる。声を張り上げた。

「私は介護を受ける側です」すると、もつとでっかい声が返ってきた。

「部長。部長は私がパワハラ、セクハラを受けて、助けてくださいと相談したとき、何とおっしゃいました。自助努力。自分で努力して解決するんだ。自己責任だ。そうおっしゃいましたよねえ。人に頼ったり、

団結するなんてのは時代遅れ。そうも言いましたよね。でも私は、部長の自立を応援、助けると言ってるんですよ」

何十年か前の女性と、目の前の介護士さんがダブって、私の前に立っていた。